



学校
だより

泊っ子

第9号

令和元年 6月18日
那覇市立泊小学校
校長 田名 真利
TEL : 917-3307
FAX : 917-3347

〈泊っ子像〉夢に向かって たくましく生きる子

①よく考え進んで学習する子（知） ②心豊かで思いやりのある子（心） ③健康で明るい子（体）

「平和集会」を開催しました！

6月10日（月）の1校時、体育館において「平和集会」を行いました。6月は、23日の「慰霊の日」に向けて、沖縄県は県民をあげて鎮魂の期間となります。泊小学校でも【平和週間の取組】を行い、子ども達に平和の尊さ・大切さを学んでもらう学習に取り組んでいきます。

当日はフリーガイドとして19年間にわたり沖縄戦の語り部【先人達の育ててきた沖縄の【肝心（ちむぐくる）】を伝えることがコンセプト】をしている崎原真弓様（ていーだ観光代表取締役）とスタッフの千葉様、真喜屋様をお招きして、「沖縄戦」に関する講話をしていただきました。崎原先生は、戦争の語り部として小学生の子ども達にも分かりやすい言葉で、表情や声色を変え、心を込めた語り口で講話をなさっていました。それはまさに「一人芝居」という感じで、「迫真の演技」といっても過言ではないくらい熱く語られていました。子ども達も全員真剣な眼差しで語りを聞いていました。その後全員で月桃を歌い（5・6年生はリコーダー演奏）、児童代表がお礼の言葉を述べ、花束を贈呈して集会を閉じました。

「戦争の悲惨さ、そして平和の大切さ」を子ども達は、改めて強く・深く学んだと思います。優しさと思いやりの心をもってお友達と仲良くしていく・・・平和な社会の建設は、日頃の学級での生活が基本となるのです。その心を全ての泊っ子に持たせたいです。



講師のご紹介



沖縄の黄金言葉の紹介



熱い語り・迫真の演技



真剣にお話を聞く児童



児童によるお礼の言葉

避難訓練(不審者侵入想定) 実施！

6月14日（金）の3校時、避難訓練（不審者侵入想定）を行いました。今回は、【不審者が校内（3年4組）に侵入した】という想定の下、「児童をいかに安全に避難させるか」ということをねらいに、不審者への対応の仕方、連絡体制、児童の安全確保等の計画を検証するための訓練として実施しました。

当日是那覇警察署生活安全課から真栄田巡查部長、国場様をお招きし、泊小学校の避難訓練について教職員に対しては【ご指導・ご助言】を、児童に対しては【ご講話】をしていただきました。真栄田巡查部長から「泊小学校の児童の皆さんの避難の仕方はとても良かったです。また先生方の不審者への対応の仕方、連絡体制も良かったです。」というお褒めの言葉をいただきました。不審者に遭遇したときの心掛けである「いかのおすし」について改めて学ぶ機会となりました。

「学校は、子ども達の【命】を預かっている！」ということを常に第一に考えて、私達教師は行動していきます。これからも「安全・安心な学校」を目指し努力して参ります。



教室内での対応



不審者の確保



警察官による指導



児童への講話



校長先生の話

「夢をあきらめない！」(校長講話より) ～砂川空也さん、全国大会での優勝を目指し頑張ってください！～

6月13日（木）8：20より体育館において「お話朝会（校長講話）」を行いました。今回は、「夢をあきらめない ～強い心を持ち、努力を続けることで道は拓ける～」というテーマで、本校5年生の砂川空也さんについてのお話をしました。

空也さんは、病気に負けない強い心と体で白血病を克服し、レスリングにおいて見事県大会優勝という快挙を成し遂げ、全国大会で「日本一」を目指す泊っ子です。その姿は多くの人に勇気と感動を与え、心が揺さぶられるものです。

泊っ子は、みんな真剣にお話を聞いてくれて、一人一人の心に「夢をあきらめない！」というメッセージが届いたものと信じます。【夢に向かって たくましく生きる泊っ子】の育成を目指し、今後も様々な機会を通して子ども達の心に種を蒔いて育んでいきたいです。



